

2026年2月18日  
株式会社テリロジーホールディングス  
(東証スタンダード市場 証券コード: 5133)

テリロジーHD、リハビリテーション医療分野に特化した診療支援システムを提供する慶應義塾大学医学部発スタートアップ企業INTEPと投資契約を締結

株式会社テリロジーホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：鈴木 達、以下「テリロジーホールディングス」）は、慶應義塾大学医学部発のスタートアップで、リハビリテーション診療支援システム「スマートリハ<sup>®</sup>」の開発・提供を行う株式会社 INTEP（本社：東京都新宿区、代表取締役：川上 途行、以下「INTEP社」）が実施したプレシリーズ A ラウンドにおける第三者割当増資の引受先として投資契約を締結したことをお知らせいたします。

### 1. 出資の背景と目的

INTEP社は、リハビリテーション医療のDXおよびナレッジの蓄積・解析を推進する2020年7月設立のスタートアップ企業です。

同社のソリューションであるクラウド型診療支援システムである「スマートリハ<sup>®</sup>」は、大学病院の臨床知見を活用し、リハビリの現場で実際に行われているOODAループの一連の流れを一気通貫で支援することで業務時間の削減と診療の標準化、リハビリテーション科の収益改善を実現します。

また、リハビリ診療記録の標準化とデジタル化を実現し、リハビリテーション医療に関するデータベースの構築やAI活用シーンの創出を可能にします。現在、複数の総合病院およびリハビリテーション病院に導入され、療法士の間接業務時間や医療品質の向上に関する実証がなされています。

テリロジーホールディングスは、「デジタルの力で現場課題と社会課題を解決する」をミッションとし、とくに医療分野については我が国の少子高齢化や医療格差、医療人材の不足、医療機関の経営悪化、患者個人情報セキュリティ強化対策等の課題を解決できる医療情報産業のDX化事業の創出を目指しております。

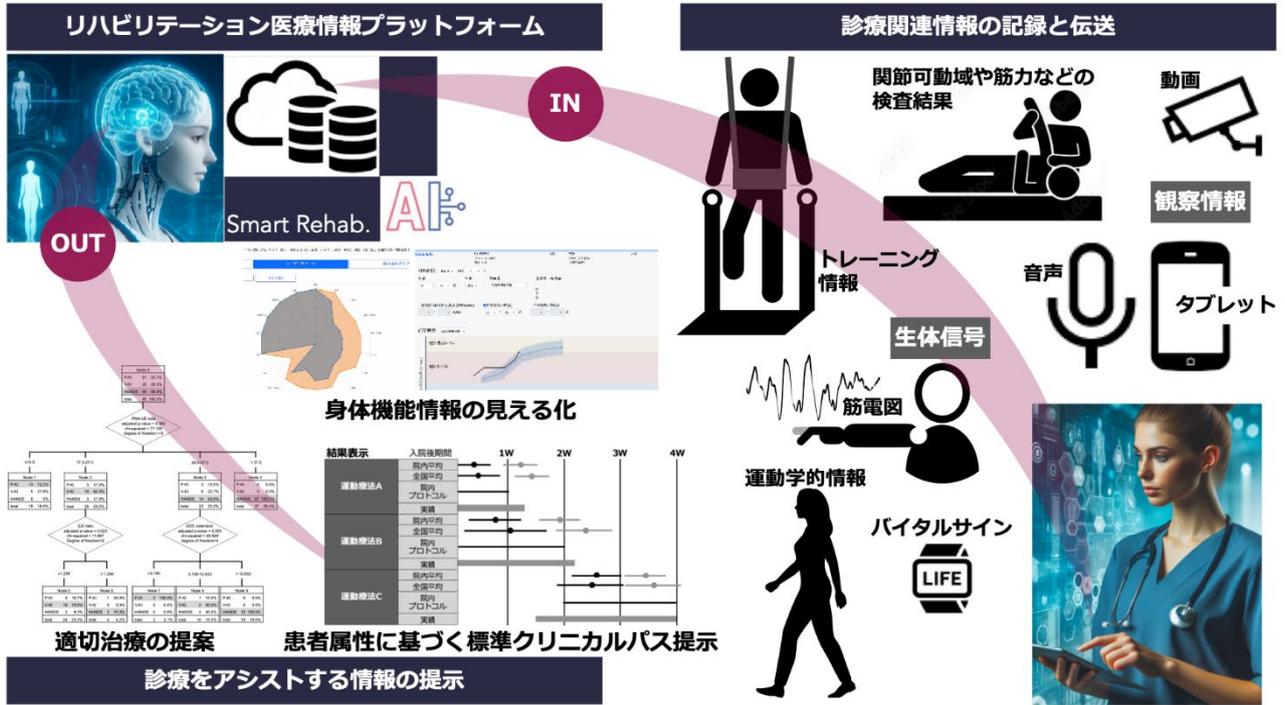
今回の出資を通して、当社において日本及び海外の技術知見を用いた、バリューベースヘルスケアを志向する医療領域向けソリューションの事業化および事業拡大を目指します。

### 2. INTEP社の会社概要

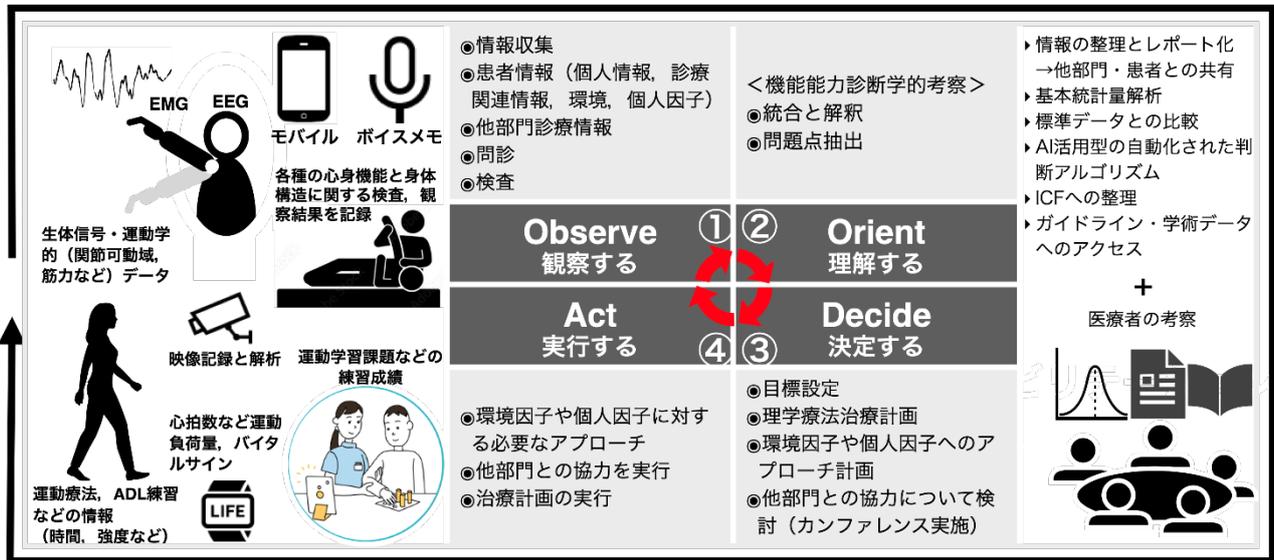
社名	株式会社 INTEP
設立	2020年7月27日
本社所在地	東京都新宿区信濃町35 慶應義塾大学病院 2号館9階 CRİK 信濃町 オフィスN10
資本金	125,912,500円
代表者	川上途行 (PhD, M.D., 慶應義塾大学)
事業内容	医療用システムの開発 医療機器・健康機器の開発・製造・販売 医療機器・健康機器のコンサルティング
URL	<a href="https://www.intep.co.jp/">https://www.intep.co.jp/</a>

【スマートリハ®製品概要】

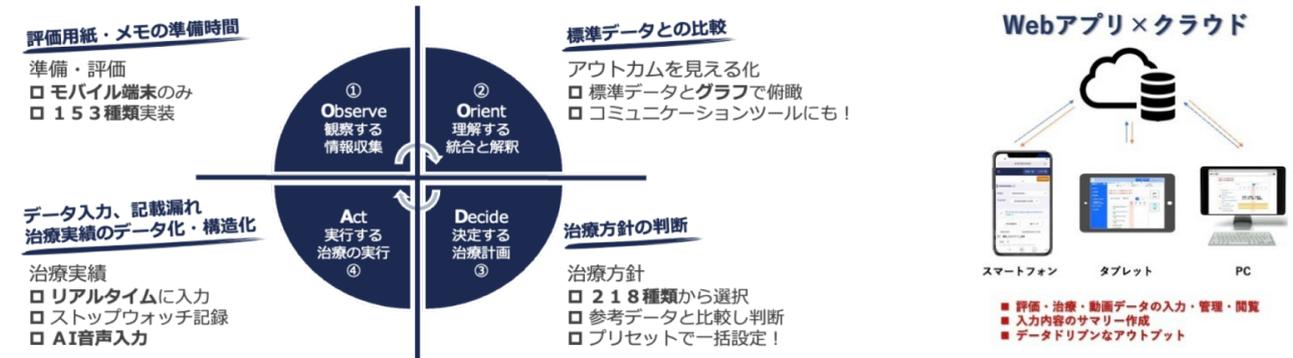
■ AI活用による個別化医療実現に向けて「スマートリハ®」が見据える世界



■ スマートリハ®は臨床で実際に行われているOODAループの一連の流れを、一気通貫で支援



■ スマートリハ®によるクラウドベースのリハビリテーションDXにより、業務時間の削減と診療の標準化を実現



以上

**【報道関係者お問い合わせ先】**

株式会社テリロジーホールディングス  
広報担当 齋藤  
TEL : 03-3237-3437、FAX : 03-3237-3316  
e-mail : ir@terilogy.com